

令和2年4-6月期中小企業（製造業）

景況動向調査結果

令和2年7月15日
群馬県中小企業団体中央会

調査結果の概要

1. 調査目的 県内中小企業（製造業）における景況動向を的確に把握し、時宜を得た中央会指導方針の策定に資することを目的とする。
2. 調査期間 令和2年6月10日～令和2年6月30日
3. 調査方法 郵送調査
4. 調査対象 県内中小企業（製造業）で、本会会員組合所属の500社
5. 回答状況 調査対象500社のうち回答を得られたのは286社で、全体の回収率は57.2%となった。回答企業の平均従業員数は54.4人であった。

業 種	項 目	調査数	回 答		平 均 従業員数
			数	率	
食 料 品 製 造 業		94社	56社	59.6%	53.7人
織 維 ・ 同 製 品 製 造 業		59	36	61.0	15.8
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業		30	20	66.7	26.9
紙 加 工 品 製 造 業		32	14	43.8	22.7
窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業		62	45	72.6	36.8
金 属 ・ 機 械 ・ プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業		223	115	51.6	89.9
計		500	286	57.2	54.4

6. 要旨

「新型コロナウイルスの影響甚大、過去に類を見ない落ち込み」

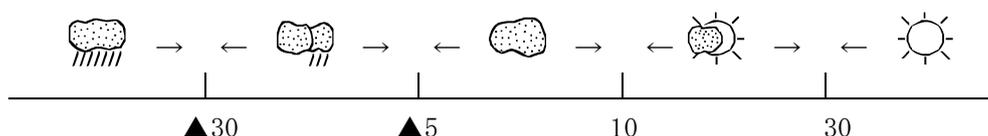
売上高と収益性を合わせたD I 平均値（前年同期比）〔※「前年同期比」は、令和元年 4-6 月期と比較した値。以下、「同期比」と表記〕については、▲70.4 となり、昭和 53 年の調査開始以来最低の値で、前回調査(令和 2 年 1-3 月期)の▲38.5 から 31.9 ポイント下降している。来期見通しにおいては、2.5 ポイント上昇し▲67.9 となる見通しになっている。

全体の天気図は、28 期ぶりに「雨」となった前回調査に続き「雨」となったが、同じ雨でも、どしゃ降りの様相である。また、来期見通しにおいてもどしゃ降り状態の「雨」が続く見通しとなっている。【図表 1】

【図表 1】

	30 年			元年(31 年)				2 年		来 期 見 通
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	
全 体	 ▲13.0	 ▲11.0	 ▲5.9	 ▲19.5	 ▲16.7	 ▲18.5	 ▲27.1	 ▲38.5	 ▲70.4	 ▲67.9

※景況天気図は「売上高」「収益性」(同期比)のD I 平均値を下記の基準に当てはめたもの。



業種別にみると、回復 0 業種、悪化 3 業種、横ばい 5 業種となっている。

悪 化…「木材・木製品」  → 

「窯業・土石製品」  → 

「プラスチック製品」  → 

横ばい…「食料品」  が継続。

「繊維・同製品」  が継続。

「紙・加工品」  が継続。

「金属・同製品」  が継続。

「機械・機器」  が継続。

来期見通しにおいては、回復0業種、悪化1業種、横ばい7業種となっている。

悪化…「窯業・土石製品」 

横ばい…「食料品」  が継続。

「繊維・同製品」  が継続。

「木材・木製品」  が継続。

「紙・加工品」  が継続。

「金属・同製品」  が継続。

「機械・機器」  が継続。

「プラスチック製品」  が継続。

【図表2】

